

「平和への思い」発信・交流・継承事業 質問書に対する回答書

令和5年5月8日

質問1 宿泊者数に関して「最大40名とする」という記載があるが、参加学生35名、仕様書P3表2にある指導者・通訳者数11名、及び受託団体の職員1名を加えると40名を超える可能性があるが、この場合40名という上限を超えてもいいということか。

答

宿泊数に関しては、「最大40名とする」という表記が誤りです。ご指摘の通り、参加学生35名、指導者・通訳者11名及び受託団体職員1名を加えた人数が正しいです。47名に訂正し、「最大47名とする」と表記し、ホームページにて改めて掲載します。

質問2 共同学習の会場として沖縄平和祈念資料館の大会議室にて、オンライン接続に利用可能なインターネット環境できますか。

答

本館のネット環境は、セキュリティの観点から外部からの接続に関しては厳しい状況です。本館でのオンライン会議等をお考えならば、受託者によるネット環境の設置になります。

質問3 宿舎に関して、「朝夕食付き」とあるが、朝食については宿舎に提供し、夕食は参加者に所定の金額を渡したのち、参加者個人で夕食をとっていただくことは可能か。

答

こちらとしては、「朝夕食」が確保できれば、提供方法に関しては受託者の判断で可能であると考えています。

質問4 仕様書P2 5(1)(ウ)では「定員は、各国・地域5名」とありますが、仕様書P5 6(1)①では「定員は、各国・地域4名」とあり、どちらの数を定員とすれば良いのか。

答

仕様書P5の「定員4名」が誤りです。仕様書P2の「定員は各国・地域5名」が正しい定員です。ホームページにて訂正し、改めて掲載します。